

子どもたちへ
組合員へ

満足度 92%
アンケート結果にて
満足・たいかい満足を選択

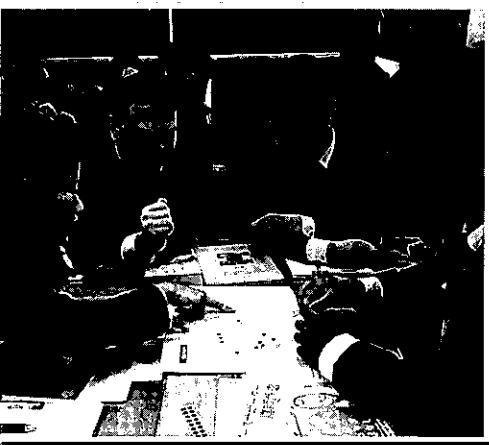
集会の学びを広げましょう

ためになつた

各分科会研修内容

楽しかつた!

運営委員の方は、講師選定や研修内容の検討など、6月下旬から準備に取り組んでくださいました。今年も参加体験型(ワークショップ)を念頭にした分かりやすい研修が行われました。参加者からは「大変満足した。」「学校現場でぜひ使ってみたい。」などの感想が多く寄せられました。教職員自らがつくる資質向上のための研究集会で学んだことを広めましょう。



前半は平和教育の概要と、8月に青年部5名が参加した原水禁広島大会における活動の紹介を行った。折り鶴平和行進や平和祈念式典に参加して感じたことや被爆者の体験を詳細に語り、平和の大切さを訴えた。後半はNPO法人エコプランふくいから講師を招き、「学校現場における環境教育のヒント」と題して小学校で実際にされている出張授業についての話を聞いていただいた。授業で行われているグループワークも体験し、終始和やかな雰囲気で活動が進んだ。環境教育をする際の重点の置き方や子どもの引きつけ方などを考えるよい機会となつた。

「原水禁広島大会」の報告
学校現場における環境教育のヒント

第1分科会

**環境。
平和教育**

世界の人とつながろう!

第2分科会

**人権。
共生教育**

コロンビア・中国・韓国・フィリピンを出自国とする講師の方4名を国際交流会館からお招きし、講演と座談会を計画していた。講演では各講師の方がスライドや映像を準備してくださいり、目を引くものが多くあつた。なかでもバンブーダンスを体験したり、○×クイズをしたりと工夫がされており、興味を引いた。講演が長引いてしまい、座談会まで時間とどることができなかつたが、途中の休憩では各国の銘菓を準備し、参加者・講師を交えて試食をしながら話すことができた。講師の方が自分のお店で出しているお菓子を持つことができた。全員で舌鼓を



「ピカソ、レンブラントと越前和紙のつながりの謎を知ろう。」
越前和紙組合理事長・石川浩さんによる「越前和紙について」の講話を実施した。紙漉き体験では、パピルス館のみなさんの指導のもと、思い思いの押し花や染料で、オリジナルの和紙を完成させた。石川浩さんによる講話では、体験談などを楽しく交えてくださりながら、越前和紙これまでの歩みや今後の展望などを知ることができた。越前和紙について、見て・触れて・作って・聞いて、十分に理解を深める一日となつた。

第3分科会

**PTA。地域
住民との連携**

